



静岡市議会議員

# まつや清

発行：まつや清を応援する会 〒420-0839 静岡市葵区鷹匠 3-3-1 井口ビル 2A TEL:054-209-5677  
Mail:chikyu\_house@yahoo.co.jp

静岡市議会 観光文化経済委員会 デジタル社会推進特別委員会 静岡市議会 超党派太鼓サークル「葵陣太鼓」事務局長



## 能登半島地震で被災された皆様にお見舞いと 1日も早い復旧・復興を願っています！

能登半島地震から1か月。複数の活断層が連動したM7.6の巨大地震と津波は、半島という地理的制約と厳冬の中、「命をつなぐ支援体制の構築」の厳しさに直面しました。静岡市消防局、上下水道局、その他部局も、元日から現在まで珠洲市など複数の自治体支援に入っています。石川県の地震想定の見積りが指摘されています。そこから私たちは学ばなければなりません。一方で、珠洲原発は白紙、志賀原発は停止状態であったため、福島原発震災のような災禍はかろうじて避けられました。浜岡原発は、南海トラフ地震発生確率の高さから、再稼働でなく廃炉にすべきであり、静岡市においても原子力災害避難計画の策定が急務です。

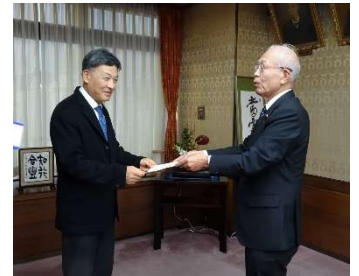
## 生活を直撃する物価高・原油高、でも、賃金上がらず 市長・議員の期末手当引上げに反対！

12月議会では、通常の補正予算に加えて、一般職員の給与改定や市長・議員の期末手当引き上げ予算、更に物価高騰対策(低所得者・福祉施設・事業者)など70億の追加予算が提案されました。

市民生活を直撃する物価高騰、それに賃金が追いついていない現状に、政治の側にいる市長や議員の引上げは提案すべきでないという考えから、11月15日、市長に要望書を提出しました。12月13日最終日の採決では、市長と議員の両方の期末手当引き上げに反対したのは緑の党だけでした。反対をしながら引き上げ分を受取るのは自らの政治信条に反するため、今まで通り、期末手当引き上げ分を法務局に供託いたしました。

## 市長初めての予算提案となる2月定例会前 緑の党として予算編成要望書提出！

12月13日議会終了後に、緑の党として静岡市の全ての施策に脱炭素社会の視点を横断的に導入することや突発災害への対応、公共の復権(コモンズ)、ケアしあう相互扶助社会、情報公開・市民自治の実現など7つの分野の要望書を提出しました。



## 政治資金パーティー裏金問題 自民党は責任を取り下野を！

### 市民の力で政権交代を！

自民党の安倍派などによる政治資金パーティーの巨額な「裏金」は、いったい何に使われていたのでしょうか。東京地検特捜部は、国会開会前に早々と「会計責任者を起訴するも政治家のお咎めなし」。議員は、「秘書が勝手に」と。こんなことは許されません。派閥による人事とカネ(裏金)は、安倍長期政権の腐敗の産物で、自民党は責任をとり下野すべきです。

生活(生活者)の道具としての政治(政治家)であるにもかかわらず、生活者より政治家が上、違法は許されるという大きな勘違いが背景にあります。腐敗は永田町で起きているのではなく、議員の選挙区の裏金が許される政治風土に原因があります。足元の政治、自治体の政治を変革する市民の力、市長と議会という二元代表制、緊張ある民主主義の中にこそ政治の未来があります。

## 城北から

コロナ禍4年ぶり学区防災訓練！(12/3)  
能登半島地震に学ぶ、訓練の大切さ！

中高生、各防災委員、医師など救護、市職員など200人超の参加。受付、感染者、けが人に応じた体育館の仕切り、避難者案内、ダンボールベッド、トリアージ。コロナ禍を経ての久しぶりの訓練に戸惑いもありましたが、参加者は、公共心に目覚め盛り上がりました。閉会式では、発言の機会をいただき、防災リーダーの養成の必要性を話しました。





**有機農業とオーガニック学校給食(6月・9月・11月議会)**

2023年4月に難波市政が誕生し、まつやの議会質問の答弁として「有機農業は本気で取り組む」(6月議会)更に、「規格外・有機野菜の活用」(9月議会)、加えて、有機茶輸出関連予算が提案されました。6月議会ではオーガニック給食実現のために「主食の米飯から」を提案しました。11月議会では「有機米」に時間を要するのであれば、「地産地消」が可能かどうか、静岡市産米の取扱量を確認しました。静岡農協では164t、清水農協では6tという結果でした。

こうした中、12月27日に「未来の給食をつくる会(清水区)」から、A中学校での米飯や給食についてのアンケート調査に基づいたデータから、米飯の風味、臭いについての改善、自校式給食の継続などの要望書が市長に手渡されました。市長は、すぐさま学校給食課に調査し、改善するよう指示しました。

また、1月16日には、「オーガニック学校給食の会」による1000人規模のアンケート調査結果を携えて、「学校給食のオーガニック化」についての要望書が市長に提出されました。2024年度予算に、学校給食、有機農業の分野でどのような事業が盛り込まれるかを期待しつつ、学校給食について踏み込んだ総括質問を準備中です。



**気候危機と学校の断熱化について(9月議会)**

**地球沸騰化時代の気候市民会議開催**

COP28での「化石燃料からの脱却」合意が予測された中で、①市民の議論を深めるために、「無作為抽出による市民」が参加する気候市民会議の開催について、②歴史的猛暑における教室の断熱化、について質問しました。①については、イギリスなどでは法制化されている手法ですが、答弁は否定的で大変残念でした。②については、クーラーの導入は、一般教室では50億円かけて実施済みで、特別教室のクーラー導入に50億円の予算が計上されました。更に体育館までとなると50億円が必要となり、財政事情は厳しい状況です。今後、断熱化にどう対処するかが課題となります。

焼津市では、教室の断熱化工事を技術者、研究者が協力し、環境教育のワークショップとして、保護者参加で、生徒が実施しています。静岡市でもそのような取り組みを検討していくとの答弁でした。大いに期待しています。



**リニア 国の有識者会議「報告書」について(11月議会)**

**議会答弁踏まえ市民グループ、市長に公開質問状・回答**

難波市長には、①生態系・国の有識者会議の最終報告について(11/7開催)、②JR東海と東京電力で合意した田代ダム取水抑制案について、質問をしました。答弁を傍聴した南アルプスとリニアを考える市民ネットワークは、12月4日に更に進化した内容の公開質問状を市長に提出し、その後、1月11日付の回答書が届きました。回答の中で重要なポイントは、報告書が事前の影響の回避・低減措置や事前の生態系への影響範囲を推定せず、施工開始後の「順応的管理」による事中・事後対応をしようとしている点など、課題、影響の予測・分析・評価の方法を詰める必要があること。もう一つは、JR東海のボーリング調査は不十分、トンネル本坑に沿った高速長尺先進ボーリング等による地質調査を踏まえて構造を設定し、GETFLOWS(静岡モデル)による解析を行い、流量減少が予測される沢等の環境保全措置を行うことが必要である点です。

既に山梨県境で始まっている高速長尺先進ボーリングコア調査やJR東海が実施した西俣地区の斜めボーリングの調査結果を組み合わせることで、35本の沢(内、希少種に影響を懸念されるもの11本)の減少する水量を想定できます。

現在、難波市長と川勝県知事との間の360万㎡の土砂、部分開業論など意見の違いがマスコミでクローズアップされています。一方で1月22日の国有有識者会議座長との面談において、難波市長は上記ポイントを主張しました。南アルプスの生態系については川勝知事と一致しており、沢の現場調査など、社会運動側の力量が試されます。



**静岡都心再開発事業について(9月議会)**

**富山市副市長 美濃部雄人さん講演会**

難波市長から、都心地区都市デザイン、地区建物更新手法に対して「アセットコモンズマネジメント」という新たな都市計画概念が提示され、静岡都心再開発事業計画案を2024年度に再構築することになりました。まつやは、成長経済前提の都市再開発ビル方式からの転換や歩いて楽しい街づくり、公共交通の観点から質疑しました。「公共空間を考える会」市民グループは、11月12日に、富山市のスマートシティ構想に学ぶ、SDGs未来都市の在り方」をテーマに講演会を開催しました。講師は、美濃部雄人さん(元静岡市副市長・現富山市副市長)から富山市の事例をお話いただきました。新年度予算事業がどんな展開となるのか大いに期待します。

**紙の保険証廃止の延期求め(9月議会)**

**時期にこだわることなく理解を得て実施する必要**

「共通番号制を考える会」市民グループは9月議会に「延期求める」議会申請を準備していましたが、自民党会派に要請行動を実施しました。自民党会派がその趣旨を理解し「自民党による延期求める意見書」を提案、市長答弁にも大きく影響あたえ、最終日に全会派一致で可決されました。市長と議会が連動して「延期」を求めたことが県内・全国でも画期的です。

「自治体議員政策情報センター」(まつや代表幹事)は、「マイナ保険と医療DX」テーマに11月17日に「地方×国」政策研究会を開催しました。講師である宮下紘中央大学教授、知念哲神奈川県保険医協会事務局長から、いくつもの問題提起を受けました。4月20日には、市民グループによる講演会(於労政会館)が準備されています。引き続き予算議会でも議論を深めていくつもりです。

**ガザ地区における平和の実現を早期に求める意見書**

10月7日、ハマスによるイスラエル奇襲に始まったイスラエルの報復・ガザ空爆では、犠牲者は2万5000人を越え、そのうち子どもが1万人と伝えられています。(1/22現在)この状況に緊急性ありと、議会初日の11月20日に決議をしました。



それに先立つ10月18日には、平和立憲会議(共同代表 鈴木恵浜松市議、松谷清静岡市議)が呼びかけて、青葉公園前で「PEACE FOR GAZA」街頭キャンペーンを実施しました。1日も早い停戦を願うばかりです。

**PFASに関する地下水、井戸水、河川、海域の調査 静岡市三保地区**

かつて、発がん性が疑われるPFAS(テフロンなど、工業的に作られる有機フッ素化合物の総称)を使用していた清水区三保の三井デュポンケミカル社の従業員の体内から、高濃度のPFASが検出されていたことが明らかになりました。

これを受けて、静岡市は昨年より周辺の地下水、井戸水、河川、海域の調査を始めました。その結果及び対策については、静岡市ホームページに公表されています。市議会でも複数の議員の質疑テーマとなりました。

まつやが代表幹事を務める自治体議員政策情報センターでは、2月7日に、国会議員会館で開催予定の「地方×国」政策研究会」のテーマの一つになっています。環境省の考え方、全国のPFAS問題を抱える自治体議員からの報告を予定しており、それらを踏まえて、全国の自治体議員のネットワークの構築を検討していきたいと考えています。

WHOによって、発がん性ありと認定されている物質ですが、日本では暫定基準のみです。早急に環境基準、法律制定が求められます。

研究会では、その他に、地方財政計画、介護保険制度改悪についてもテーマになっています。



静岡市 HP

写真で見る  
まつや清  
活動の  
日々



10月26日 ●食と農を考える自治体議員連盟しずおか 設立総会



11月3日 ●大道芸ワールドカップ in 静岡 天使の羽 お掃除ボランティア



11月25日 ●産業フェアしずおかに城北地区の西村量店さんが出店



12月11日 ●福島の子どもたちへの支援 街頭募金活動 311を忘れない in 静岡



12月25日 ●辺野古判決に抗議の記者会見(平和・立憲・人権をつなぐ 全国自治体議員会議 共同代表として)



1月8日 ●学校給食・タケノコは100% 地産地消で。竹林整備に参加

## 社会の課題に当事者意識をもって～ジェンダー平等のために～

男女共同参画の今を知る情報誌「ねっとわあく」編集員 天野育子さん

まつや清さんとの出会いは、子育てサークルの有志の仲間と議員控室に話を聞きに行ったときのことでした。市政では子育て支援に対してどのように予算が使われているのかを教えてください、当事者である私たちが、市政を身近に感じるきっかけとなりました。また、私は、子育てが大変だと感じる一つの要因として、ジェンダーの問題があると考え、男女共同参画の情報誌の編集員を行っています。夫婦別姓、主夫を経験されている松谷さんとは、チャンネルまつや(Youtube)にて対談もし、見識を



深める機会になりました。

政令指定都市の中でも女性の割合が最低である静岡市議会。松谷さんにはジェンダー平等に向けて一石を投じることを期待しています。とはいえ、松谷さんは私の親世代。そんな方が社会の難題に果敢に挑んでいく姿を見て、私たち世代も次の世代のために何か動かねば！と勇気づけられる気持ちです。



### 2023年11月議会 観光文化経済委員会報告

#### ◎難波市長の意向・物価高で市民文化会館 PFI 事業の中止

6月、物価高を理由に創作的改修事業の見直しが公表され、12月議会でコンサルタント会社契約の清算の提案があり、PFI事業は中止になりました。当初、基本設計は市直轄、140億の改修費、20億の広場整備であったPFI事業は、バリアフリーや座席間隔、トイレ改修、耐震強化に限定したアセット事業に縮小されます。文化創造拠点、広場の再整備と北街道との回遊性など課題は残されたままです。多目的アリーナと新会館建設を白紙に追い込んだ市民グループの今後の活動に期待します。

#### ◎企業立地用地可能性調査

##### 棚上げされていた竜南地区 9.6ha の農地も対象に

難波市長は、有機農業の振興に本気で取り組むと共に、人口減少への備えとして企業立地にも力を入れています。2015、2016年の既存調査地の再検証30カ所に加えて、新東名スマートインターチェンジ周辺など30ヶ所を追加し、計60カ所を調査することになりました。その中には、田辺市長時代に棚上げとなっていた刑務所と竜南小との間の土地9.6haも復活しましたが、10月27日に実施された第1回説明会では、賛否両論、「大荒れ」となりました。まつやは、農業用地として活用すべきと考えていますが、皆さんはどうお考えでしょうか？



### 杉並の風を静岡にも吹かせよう！

#### 映画『〇月〇日、区長になる女』上映の実現を！

第38回「きよしとこの夜」、テーマは「女性と若者の政治参加」、メインゲストには、2023年4月の統一地方選挙で、杉並区の区議会議員となったブランシャール明日香さん(緑の党グリーンズジャパン公認)。杉並区は、2022年に、岸本聡子区長が誕生し、23年4月の区議会議員選挙の結果、議員の半数が女性議員という「市民革命」を起こしました。女性の多数当選の経緯やカフェの店主だったブランシャールさんが、なぜ政治の世界を志すことになったのかなどを伺いました。シンポジウムの司会はまつやが担当し、静岡のパネリストは天野育子さん(保健師)と青野真奈美さん(管理栄養士)。ブランシャールさんからは、「ぜひ多くの女性にチャレンジしてほしい！」とエールをいただきました。静岡市議会に子育て世代の女性議員を誕生させたいですね。



杉並区の選挙活動のドキュメンタリー映画『〇月〇日、区長になる女』の上映会が東京から全国に広がっています。「杉並の風を静岡に」を合言葉に、静岡でも実行委員会を結成し、上映をめざしています。



関心のある方は、ぜひご協力をお願いします。

(地球ハウスまで TEL054-209-5676)

### ◎2022年度9月議会 決算審査 城北公園 PFI 事業に住民との話し合い求める討論

昨年暮れに城北公園 PFI 事業に反対し、静岡市相手に訴訟を起こしている原告団の皆さんから城北公園周辺の駐車場利用状況について訴訟資料を送っていただきました。

9月議会の最終日(10/11)には、城北公園の PFI 事業に対して「コロナ禍の中で住民への情報提供が不十分、パブリックコメントが実施されなかったこと」を挙げ、2022年決算審査において、「いつまでも訴訟を継続することなく、このPFI事業の大胆な見直しによって、住民との合意を実現すべき」という立場において反対を表明しました

### 静岡市議会 2月定例会会議日程

会期 2月8日～3月19日 41日間  
 2/8 本会議 会期決定・議案上程・説明  
 2/13 本会議 補正議案等質疑・委員会付託  
 2/29 3/1 3/4 3/5 本会議 総括質問  
 3/7 3/8 総務・企業消防・市民環境委員会  
 3/11 3/12 厚生・観光文化経済・都市建設委員会  
 3/19 本会議 議案上程・委員会報告・質疑・討議・評決



### まつや清プロフィール

1951年 新潟県柏崎市生まれ 静岡大学工学部中退  
 1987年 静岡市議会議員(3期)、静岡県議会議員(1期)、  
 国会議員政策秘書を経て、2009年より静岡市議会議員  
 (4期)

●問合せ先: 054-209-5677

まつや清を応援する会 (月)・(水)・(金) 9:30～16:00